

## 里の豊かさを活かすふるさとづくり (平成22年度認定)



粟国村は、那覇市の北西約60kmの東シナ海上に位置する1島1村、島の地形は概ね三角形をし、外周約12km、面積7.64km<sup>2</sup>、最高標高は海拔95.8mである。

村では、土地改良事業により整備されたほ場において、さとうきびを中心にもちきびや小豆、らっきょう、たまねぎなどが栽培されている。

平成2年に村の特産品加工センター建設に際し、島の特産品開発の強化策として粟国村農漁村生活研究会内に「加工部」が設置され、13名の加工部員が村から特産品加工センターの管理運営を受託し、特産品開発に取り組んでいる。特に、島での栽培が一時途絶えていた「もちきび」を復活させるために取り組まれた「もちきびかりんとう」は、島の主要な特産品のひとつとして生産が拡大しており、「食アメニティコンテスト」優秀賞（農林水産大臣表彰）、離島フェアでの「島おこし奨励賞」や「全国農業協同組合中央会会長賞」を受賞し、地域農業の振興や離島における女性の雇用の場として大きく貢献し、【里の豊かさを活かすふるさとづくり】に取り組んでいる。

